

平成30年度まちかどミーティング会議録

開催日 平成30年10月23日（火）

地 区 大成町・光洋町地区

会 場 西町総合福祉会館

<当日参加者との意見交換>

○司会 それでは、当日参加者との市政に関する意見交換の時間に移らせていただきたいと思ひます。

多くの方に御発言をいただけるよう、発言は簡潔にお一人1件ずつお願いをいたします。残り時間に余裕がありましたら改めてお伺いをいたしますので、よろしくお願ひいたします。なお、町内全体に関わらないような個人的な要望や苦情等につきましては、本日、市の担当者が多数来ておりますので、まちかどミーティング終了後に直接お話をさせていただきたいと思ひます。

本日のまちかどミーティングは、西町親交会、大成町公住町内会、光洋町町内会、あやめ町内会、日吉町町内会、糸井南町内会、糸井西町内会にお住まいの方を優先させていただきますので、御了承ください。

発言の際にはマイクをお持ちいたしますので、町内会名とお名前を述べてから発言をお願いをいたします。

それでは、市政に関して日頃お気付きの点や御意見のある方は、挙手をお願いいたします。はい、どうぞ。

◆市民 私は、大成公住町内会の■■■■と申します。

今のプレゼンテーションを聞きますとね、これから要請することは、誠に心苦しくて申し訳ないんですけども、これは町内会の希望でもありますし、それで、一応市長さんにお話を聞いていただきたい。

大成公住町内会の敷地内に集合会館の建設をお願いしたいということなんです。ということは、これは予算的には大変なことなんですけれども。ただ、大成公住町内会の現状を申し上げますと、町内会には高齢者が多くて、今、約1,500人、910世帯の居住者がおります。その中で75歳以上というのは360名、毎年20名以上の75歳の人たちが増えております。

それで、町内会の総会、それから新年会。それから老人クラブって松葉会なんですけれども、その月例会。総会などの大型の催事には、現在の私たちの会議室、大成公住町内会、3DKの1部屋なんです。その1部屋でね、大人数でそういうものをやるというのは、誠に不可能に近いと。それで、私たちの新年会などは西町親交会さんのこの場所、この場所を借りて新年会を行っているのが現状です。それで、市役所からは、恐らくこの1キロ先に青葉大成集会所というのがございますけれど

も、青葉大成集会所に行くのには、年を取った人たち。それから年齢にもうなって、自家用車を捨てたというのではなく、なくして、そして免許証を返納して、そういうような状態にありましてね。あそこまで歩いていくのも大変、そういうような状態にありまして、大型の催事を開催するというのが誠にできない状態ということです。

それと、福祉のまち苦小牧。このスローガンもございますけれども、高齢者が多いということと、それから体に障害の持っている方、それから生活保護者、そういうような人たちが今大成公住にはものすごく。入ってくる人、入ってくる人がそういう方が多いわけです。それで、私どもも各自治会があるのですけれども、そういう人を温かく迎えてやっていかなければならないというふうには考えているのですけれども、そういうことで公住町内会に、平屋で結構です。会館を建てていただきたい。

だけど、さっきのプレゼン聞きますと、誠にこれは市長さんをお願いするというのは心苦しいのですけれども。ただ、苦小牧の市営住宅の整備計画ございますね。あの整備計画を見ますとね、平成38年。ということは、あと8年後ごろには。大成町の公住町内会、今8棟あるのですけれども、その910世帯のうち3棟が132世帯。これが用途廃止になります。用途廃止になりますけれども、維持管理棟、これ、5棟残るわけですけれども、このうちの1棟は道営住宅。それでも人口的には1,200人の人口、そういうような居住棟でもございます。

それで、先ほどから聞いた状態の中で、せめて今の会議室3DK。この部屋が2つつながって、そしてワンフロアの状態であればですね、今、大成公住町内会の状態では何とかカバーできるかなど。その改築をね。会館は、これは町内会をお願いなんですけれども、私個人としては、できないものをお願いするというのも何ですので、そういう2部屋をワンフロアにできないものか。そのように考えて、今とっさ的に市長さんをお願いなんですけれども、そういうことで、大成公住町内会というのは、そういうようなワンフロア、3DKのところまで今やっているんですよということを認識していただいて、何とか大成公住にも、ある程度の広いスペースのある会議室を持たせていただきたいなど、そのように考えます。ということで終わります。

○司会 はい、ありがとうございます。それでは、市の回答をお願いいたします。

◎市民生活部長 市民生活部長をしております片原と申します。

私の方から集会所、いわゆる町内会館的な施設の建設の要件等について、前段の部分でお話しさせていただきたいと思っておりますけれども。まず、町内会館というのはですね、基本的に、いわゆる町内会は任意団体なんですけれども、その任意団体の建物ということで、建てる場合はですね、市と、それから町内会との建設費の折半ということがまず条件になります。そのためには、やはり町内会員の方からの合意のもとに、建設のための一応計画というものがちょっと必要になってきます。これ

はまず前程としての条件になりますので、そこをまず整理をしていただければというふうに思います。

それと、あと建設した後の維持管理等の取り決めや何かも、やはりこれも町内会との合意が必要になりますから。これは、是非そういった一連の建設に向けての計画を作っていただいた上で、市の方に申請をしていただいて建設という運びになるうかと思えます。

ただ、敷地につきましては、これまでいろいろな町内会の会館を建設されてきましたけれども、基本的に市の方で区画整理という事業をやった中で、公共施設のための土地を用意して、そこに建てていただくということが流れになっているんですけれども、ここの大成公住町内会さんの敷地の中に、先ほど平屋というようなお話もありましたけれども、平屋になるとかなりの面積が必要になってきますが、それだけの建設用地が確保できるかといいますと、現段階ではなかなかちょっと難しい。公住に囲まれた公園はありますけれども、公園は基本的に面積等も含めてきちっと市の計画の中で組み入れられているものになるので、この面積を変えとなると、非常に手続等のハードルが高いという部分があるので、そういった部分を考えますと、計画も含めて、じっくりお話ししなければならないのかなという気はいたします。

後段の部屋を抜いて広い部屋を用意できるかどうかという部分につきましては、市営住宅の担当の方からお話をさせていただきます。

◎都市建設部長 都市建設部長をしております栗野と申します。いつも住宅行政につきましてお世話になっております。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

今お話のございました大成公住町内会さんで、3DKのお部屋を会議室的に御利用されているということでございますので、その横が空いていて、構造的につなげることがもし可能であれば、そういったことを検討させていただきたいと思えますので、まず現状の方をもう一度確認をさせていただいて、改めて可能かどうかということをごすね、町内会さんの方に御報告をさせていただきたいなというふうに考えてございますので、よろしく願いいたします。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 はい、よろしいです。

○司会 それでは、他にどなたか御意見、御質問等ある方いらっしゃいますでしょうか。はい、どうぞ。

◆市民 青葉町の■■■■と申します。

普段からちょっと気になることがあったので、この場で話したいと思って来ました。当てはまるかどうか分からないんですけど、実はですね、私、ちょいちょい駅の方に行くんですけど、バスのターミナルの前あったところ、2番ホーム。あそこへ行くとすごい吹きさらしなんですよね。冬なんかもう皆さん立っている人、

販売機にこうやってやっているんですよ。それを私は一度、まちかどのココトマのところに一度書いたことがあるんですよ。一応、返しの電話は来たんですけども、それがどうなっているかということと。公園があってもトイレのない場所が結構あるんですよ。それも私は今のような災害が起きてみてよく分かると思うんですよ。その町内に公園1つとトイレと水、これ必修科目だと思いますのでね、そこら辺をもう少し配慮していただきたいと思います。大したことの内容でないと思いますけれども、長々としゃべるのはまずいと思うのでこれだけお願いします、いっぱい聞きたいことあるんですけども。

○司会 御質問は、バス乗り場と公園のトイレということでよろしいでしょうか。

◆市民 バス乗り場に、屋根はある程度ありますけれども、壁がないんですよ。

○司会 旧バスターミナルの部分ですね。分かりました。

◆市民 あそこビル風みたいに風がずっと抜けて行って、とっても寒いんです。椅子よりも何よりも壁が欲しいんです。待っている人が凍えていますからね。考えてください。

○司会 市の回答をお願いいたします。

◎総合政策部長 総合政策部長の福原と申します。

今のバス乗り場の部分につきましてお聞きをいたしました。御承知のとおり、旧バスターミナルは今ちょっと閉鎖をして、駅前のココトマの前とかで御利用いただいているということで、今あったようなお話も別なところからもお聞きをしています。道南バスさんとも話をしてですね、まず、ココトマの中でお休みになっていただくという場所もあるんですけども、そういった声があるということ。屋根はあるんですけども壁がないというようなことも話があったということ、私ども道南バスと話をしてですね、

◆市民 ちょっともう一回話したい。ココトマのところで休憩するみたいのも、あそこでしゃべっている人に聞いたら、あそこで催し物があると出されるということですよ。

◎総合政策部長 ああ、そうですか。

◆市民 そういうこともあるので。

◎総合政策部長 分かりました。その件も含めて道南バス、ココトマ管理されているところともお話をさせていただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。

◎都市建設部長 都市建設部でございます。

今、公園のトイレとか水飲み場とか、そういったお話がございましたけれども、これまで公園整備ですとか改修の際には、一応、近所の町内会さんに御意向を御確認させていただいた上で、トイレを付けるか付けないかと、あるいは遊具をどういった遊具を付けるかとか、そういった御相談をさせていただいてきたところがございますけれども、今回、地震を機に、ブラックアウトというか停電みたいなことがございまして、水がいかないとか、そういった御体験を皆さんされたことかと思ひ

ますので、皆さんの考え方が、今回の地震で変わっていくこともあるのかなというふうにご考えてございますので、今後、公園の整備等につきましては、そういった御意見を踏まえながら、トイレの在り方というものを。あるいは、水飲み場というの、散水栓って公園に水をまくための、トイレとはまた別にあるんですね。ですから、そういう所から応急的に水を配するというのも可能になるかと思っておりますので、いろいろな面で公園の整備の際には、町内会さんに改めて御意見をお聞きして整備を進めたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 はい、よく考えて、なるだけいい方向に向けてください。

○司会 それでは、他に御意見、御質問ある方いらっしゃいますでしょうか。

◆市民 西町親交会の新富区に住んでいます[REDACTED]といいます。よろしく願いします。

道路のことだったんですけども、朝、子供たちが登校するのに歩道がないところがあるんです。小さい子が一人通れるぐらいの歩道があっても、そこのお宅の方が畑として使用していたりとか、そこ踏み入れたら家の中から見えていますよみたいな文句も書いてあったりとかするんですよ。冬場だとやっぱり除雪車が通ると、子供たちは車とスライドするために、除雪車が積んでいった雪の中に入らないと通られないんです。そういう所がうちの近所だけでも2か所ぐらいあって、冬場はもう車のスライドがまず無理な道なんですけども、やっぱり宅急便ですとか大きい車がスライドしようとする、絶対歩行者が巻き込まれる感じなんですよね。そこを一方通行にさせていただくとか、歩道の完備をしてほしいなというのがお願いです。よろしく願いします。

○司会 市の回答をお願いいたします。

◎道路維持課長 道路維持課の小西と申します。いつもいろいろな町内会の方々には、穴が空いていたり、いろんな道路として通行しづらいという点につきまして情報いただきまして、本当にありがとうございます。まず、この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。

それで、今のお話なんですけれども、歩道が狭い、車がすれ違うのにも。まあ、道路もいろいろありますので、今言われた場所をちょっと後で確認させてください。そして、その後どういう対応ができるかを含めて、またお話ししていきたいと思っておりますので、よろしく願いします。

○司会 それでは、他に御質問、御意見ある方いらっしゃいますでしょうか。後ろの方、どうぞ。

◆市民 はなしょうぶ1のドライバーズ組合の[REDACTED]です。

駐車場の件でちょっとお願いしたいんですが、熱給の前に第2駐車場があるんです、はなしょうぶ1棟の21台分が。そこへ入っているのは現在7台。他の方が空いているんです。そこへ10-1の車じゃないかと思うんですが、入っているんで

すね。そうすると、お金を払っている人は不公平じゃないかということで、ドライバーズ組合の方へ中傷が入るわけです。私どもの対応もね、夜、夜中、あそこで立って見ているわけにもいかない。これからまして寒くなったらそんなことはできないので、以前にも住宅課の課長さんにお話ししたことがあるんです。といいますのは、空いているスペースのところへ区画がありますね。あそこへパイプを打ち込んでロープを張ってもらって、勝手に入れないようにできないものかということでお話しはしてあったんですが、現在に至ってその返事もまだないということで、以前、昨年に行ったときにはパイプを打ち込んで、車がバックして入ってきたり、ぶついたら役所へ文句が来るということで、それが延び延びになっていると。

例えばそうしたら、うちの棟の下の駐車場、あそこに柱がありますよね。あれにぶつけたからって市に弁償せとは言っていけないと思うんです。それと同じことじゃないのかなと思うんですが、その辺のところを早急に善処していただきたいと思えます。とにかく不公平だと言われると、私どもも何の返事もできない。それから車止めも付けていいものかどうか、入ってきている車に。その辺のところをちょっと回答を願いたいと思えます。

○司会 市の回答をお願いいたします。

◎都市建設部長 都市建設部でございます。

以前からそういった駐車場の御要望をいただいておりますが、そういった後で車がぶつかるかです、そういったことで対応が遅れておりますという、そういう状況につきましては、この場をお借りしてお詫びを申し上げたいと思えます。

実際そういうふうな不公平感というのが、当然管理されていけばあると思えますので、まずもう一度現状を確認させていただいて、そういった車もぶつからないようなところにですね、そういう車両が入らないような措置ということを改めてちょっと考えさせていただいて、対応をさせていただきたいと思えますので、後日、改めて御相談にもお伺いさせていただきたいと思えますので、よろしくをお願いいたします。

○司会 それでは、他にいらっしゃいますでしょうか。前の方、どうぞ。

◆市民 西町親交会の■■■■と申します。

昨年この場でお聞きしたんですが、ごみ問題でございます。ごみの戸別収集、どの程度進捗していたんでしょうかというお話を聞きました。現在検討中でございますという返答をいただきまして、今年ちょっと注意していたら、西町親交会では新富区がそのモデル地区になっているというのかな。そういうことで、新富区にはアンケートが来ていましたので、ああ進んでいるなというふうに思っていて喜んでいますが、現在どういう状況にあるのかということをお聞きしたいということでございます。

○司会 市の回答をお願いいたします。

◎ゼロごみ推進課長 環境衛生部ゼロごみ推進課長をしています小泉と申します。よろしくお願いたします。

まず、日頃ですね、町内会の皆さんにはごみの減量とリサイクルの推進、そして町の環境美化に御協力いただきまして、ありがとうございます。

ただ今の戸別収集の関係でございますけれども、28年の7月から試行という形で始めさせていただきまして2年が経過したところで、今、御紹介ありますように、モデル地区の皆さんにも再度アンケートをさせていただいております。それから、同時にモデル地区ではない市民の方にもアンケートをさせていただいております。ただ今その集計をしているところでございますし、それから収集の作業員さんの声というところも大変重要になりますので、そういったところを今取りまとめているところでございます。一応、目途としましては、今年度末までには今後の収集の在り方というところで方向性をお示ししたいと考えておりますので、よろしくお願したいと思っております。以上です。

◆市民 分かりました。

○司会 他にどなたかいらっしゃいますでしょうか。はい、前の方。

◆市民 日吉町町内会の■■■■と申します。

本来であれば、要望書をもって事前にお伺いすべきところでございますが、お許しをいただきまして、1点のみ市長様の御意見を拝聴いたしたく質問をさせていただきます。

去る9月の6日未明、胆振東部地震が発生をいたしました。私の76年の人生の中で初めて体験する大地震でございました。尊い命を失われた41名の皆様には、心から御冥福をお祈りを申し上げますとともに、今もって400名以上の方がですね、避難所で御苦労されております。心からお見舞いを申し上げるわけでございます。

今回の地震、震源地が内陸でありましたので、津波の問題には至りませんでした。私どもは鉄南地区、このJRの南に住んでいる者にとりましては、地震イコール津波でございます。常に津波の恐怖は脳裏から離れることがございません。そんな中にありまして、特にこの日吉町、永福町、糸井西町ですね、それから南、有明も含めてなんでございますが、避難する場所が非常に遠いんですね。私どもらの避難所は、JRを越えまして桜木町の北星小学校に指定をされております。もちろん糸井小学校もありますが、ここは最大で2,000名でございます。その中ではとてもこの3町内の方々が収容できる環境にはございません。加えまして、非常にこの3町とも高齢者が多いということと、それからグループホームが2か所ございまして、38名の方々が入所されています。更に障害の方も多いという中で、この北星小学校まで移動するには、近くを通っても1.5キロ、遠いところでは2キロでございます。到底、高齢者あるいは障害の方では、もし津波の襲来があれば間に合わ

ないと。こんな現状で毎日頭を痛めているのが、この鉄南地区の住民でございます。

そこで、具体的にちょっとお願いがあるわけでございますが、日吉町3丁目、4丁目に市営住宅が60棟ございます。1階平屋建てと、それから2階建てですが、いずれも私の記憶では築40年から50年近い物件でございますから、そろそろ更新の時期というふうに私方は考えております。

そこでお願いでございます。もし更新の際には、最低で3層、4層、3階建て、4階建てにさせていただきまして、屋上は陸屋根にさせていただきまして、まずは避難所を兼務していただきたいということが1つと。それから、共有の廊下等々は常に避難所にできるような構造にできないか。そして、このことが今の市の構想の中に織り込んでいただけるものかどうかを、仮の意味も含めて御質問させていただきまので、よろしくをお願いをいたしたいと思っております。以上でございます。

○司会 市の回答をお願いいたします。

◎住宅課長補佐 住宅課の南川と申します。どうぞよろしくお願い致します。

今、お話がありました日吉町と光洋町の地区なんですけれども、今年の3月、市営住宅の整備計画というものを作らせていただいたんですが、現行の計画においては、この地域というのは、民間事業者さんから、そのエリアの使い方というものも含めて御提案をいただいて、民間活力の導入って我々呼ぶんですけれども、そういった中の御提案の中から、どういったものかというのを選んでいくというような方式を考えてございます。もちろん、今、お話のありました3層ですとか屋上といった話もですね、当然、御提案の中には組み込まれてくるものと考えていますので、我々がそこを選ぶ際には、そういった避難、防災というところですね、そうした観点も踏まえて、こういった事業者の選択というところも考えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

○司会 他にどなたかございますでしょうか。

◆市民 直接町内会に関わらないことでもよろしいですか。

○司会 どのようなことでしょうか。はい、どうぞ。

◆市民 声が大きいですのでマイクは不要でございます。

今、太陽光パネルについてちょっと教えていただきたいんですけれども、耐用年数ですね、これはどのくらい考えているのか。あと、この太陽光パネルが発売されて、考えられてからもう10年近くなると思うんですけれども、これ20年、30年先のことになると思うんですけれども、このパネルの効率が悪くなって電気を起こさなくなるといったときに、このパネルが廃棄物になるのか、ごみになるのか、リサイクルになるのか、その辺を教えていただきたいなど。1枚何%ぐらいが廃棄物になって、リサイクルはどのくらいのパーセンテージでそれを回すのか。もし、それがごみということになれば、市の方でもその支出とか、あるいは工場とか、そういったものを考えなくちゃならぬと思うのですよ。費用については、何万、何十

万枚と大きなものがありますけれども、そう心配してはいないんですけれども、一般家庭で自由に普及されるということになれば、これはごみになるのか、ごみでないのか、その辺、お分かりであれば教えていただきたいと思います。終わります。

◎**ゼロごみ推進課長** 再び環境衛生部ゼロごみ推進課、小泉と申します。

ただ今の太陽光パネルがごみになるのかどうかというところですね。太陽光パネル設置につきましては、民間の御家庭というところと事業所というところがあるかと思えます。事業所につきましては、産業廃棄物になるかと思えますけれども、家庭のパネルですね、その大きさというところもありますけれども、市の方の例えばクリーンセンターの方に持ち込んでいただく場合には大きさの制限がございます。大きさが2メートル以内ということになっておりますけれども、それよりも大きい場合には、やはり許可業者、民間の業者等を利用していただいております。処分していただくことになるのかと思えますけれども、ちょっと今手元にそういった詳しい資料はございませんので、後ほど調べまして御回答したいと思いますので、よろしく願いいたします。

◆**市民** はい、分かりました。

○**司会** 他にどなたかいらっしゃいますでしょうか。他になければ、2回目の方にしたいと思えますが、よろしいでしょうか。どうぞ。

◆**市民** 西町親交会の■■■■です。

昨日の新聞を見ていたら、避難所の開け方の問題で、札幌の避難所の記事が出ていたんです。札幌はキーボックス使い開錠というか、そういうふうにキーボックスになっているようなんですが、苫小牧はそうっていないと思うんです。そこで僕が一番心配したのは、避難する場合によく聞かされていることは、その避難所の近くの市役所の職員の方が開けてくれるんだというようなことを聞いているんだけど、それが果たしてきちんと機能するようになっているのかどうか。学校とはどういう関わりを持っているのかという辺りを、この記事を見ながら苫小牧のことを考えたときに、ふっと心配になったものだから、そこの辺りをお聞きしたいなと思って質問しました。

○**司会** 市の回答をお願いいたします。

◎**市民生活部長** 市民生活部でございます。

苫小牧の場合、市内の小中学校、高校、高専、それから大学、全部で47か所が指定避難所ということになっておりまして、その避難所を開ける際には、市の職員が、その近くに住んでいる市の職員なんですけれども、避難所の指定職員という者がおりまして、震度5強では自動的に災対本部を開くことになっておりますので、今回震度5強に該当しましたので、ちなみに今回は4時に市内38か所の避難所を開けまして、7時の段階では全て避難所を開けたというような状況であります。一応苫小牧は、そういうダイヤル式ではなくて、鍵を預って開けるというような方式に

なっています。よろしいですか。

◆市民 はい。

○司会 その他どなたかいらっしゃいますでしょうか。御質問、御意見ある方いらっしゃいますか。他にはよろしいでしょうか。はい。

そうしましたら、他にないようなので、これで当日参加者との市政に関する意見交換を終了させていただきます。

最後に、終了に当たりまして、市長から御挨拶を申し上げます。

◎市長 それでは、御熱心に各種幅広い分野でありましたけれども、御質問をいただきまして、ありがとうございます。すぐお答えできること、対応できることだけではなかったんですが、預かった宿題はですね、少しでも早く対応し、説明をさせていただきたいというふうに思っております。

1点だけ、今、我々にとっても非常に大きな課題、ごみの戸別収集の問題がまた出ました。これはある意味では政策判断が必要な問題でありますけれども、今、ここ1、2年、特に働き手の問題、収集業者さんのですね。それが非常に今深刻な問題になりつつありまして、5年前のごみ収集の環境と、この1、2年の環境とではですね、これ苦小牧だけではありませんが、非常に全国的に悩める問題となっております。そういう状況を見極めたり、あるいは戸別収集することによってコストがかかってくることになります。そのコストをどこで吸収するのかと。ごみ袋をさらに高くすることはできませんので、吸収することができるのかどうか。これ全体としてそうですが、財政のパイが小さくなりますから、これに付けるときにはどこか削らなきゃいけない。その場合には、市民の皆さんの中にも賛成、反対両論が発生しますが、そこは市民の皆さんにとって、よりよい生活環境を築くために、英断をしていかなければならない問題もあります。ある意味で、その収集システムは、その種の問題になってきつつあるなというふうに思っております。

もう一つは、高齢化現象がどんどん進んできます。今、大成公住からもですね、高齢化率、あるいは古い町内会ほど、例えば栄町とか、本当に今市内でもトップクラスの高齢化率になっております。そういう場合の収集のあり方等々もですね、きめ細かく考えながら整理をし、市民に提案していかなきゃいかなというふうに思っておりますので、もう少しの間、今、一番業者さんが人手確保に苦労しています。作業員がいなかったらなかなか進まない。それは高いコストを上げれば人は来るじゃないかといっても、そうするとコストを上げるわけにいきませんので、そこは非常にこれから悩める問題であります。しっかりと考えて提案をしたいなというふうに思っております。

それやこれやですね、これからもすぐできることはすぐやります。時間がかかることは、市民の皆さんに御理解をいただきながら、時間をかけながら一步一步やっていく。できないことはできないという問題もあろうかと思いますが、そういうめ

り張り感の効いた市政運営、経営をしていかなければならない時代であるということをご理解いただき、それでもよりよい住みよい環境づくりのために、これからも一生懸命取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

いつもまちかどミーティングの最初の挨拶で言っていたんですが、震災発生でなかなかそういう雰囲気ではなかったんですが、7月9日、私の4期目がスタートをしております。私にとっては生まれ育ったこの町の次なる成長、発展のために、また4年間、一生懸命市政のかじ取りに励んでいきたいというふうに思っておりますので、皆様方には今後ともよろしくお願いを申し上げまして、御挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

○司会 それでは、以上をもちまして、まちかどミーティングを終了させていただきます。本日はありがとうございました。